

総合型選抜対策講座③

文教大学 国際学部 国際観光学科

(課題遂行型出願向け)
レポートの書き方・まとめ方について

2022年8月21日 (日)



対策講座 (1) ～ (4) の予定

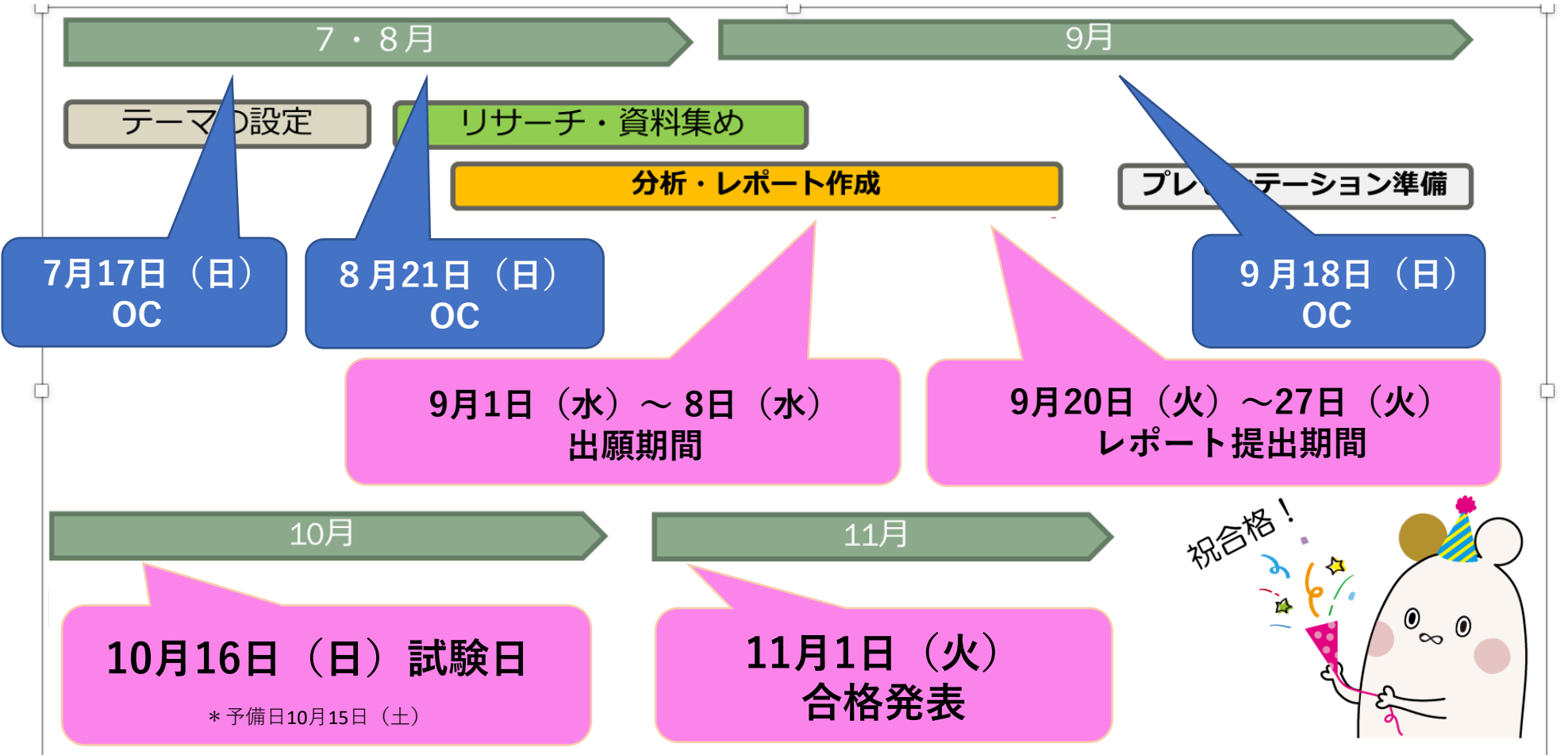
6月26日 (日) : (1) テーマの選び方・取り組み方

7月17日 (日) : (2) 調査・分析の進め方

8月21日 (日) : (3) レポートの書き方・まとめ方

9月18日 (日) : (4) 試験当日対策

合格までのスケジュールと準備



どんな学生を求めているのか？

アドミッション・ポリシーとは？

求める学生像

【国際観光学科】

1. 旅行、宿泊、交通などの観光ビジネスや地域づくりに関心を持ち、国際観光を通じて社会に貢献したいという意欲を持つ人
2. 基礎的なコミュニケーション能力を有している人
3. 国際観光や地域づくりにかかわった経験がある人



「入学者受け入れ方針」のこと

学んでほしい内容

【国際観光学科】

1. 世界の地理歴史、政治経済、文化、言語に関する基礎知識
2. 自分の考えをまとめ相手に伝えるための思考力や表現力
3. 観光や地域にかかわる体験や学習経験

総合型選抜の出願資格として、アドミッション・ポリシーに賛同していただくことが前提となります。

総合型選抜（課題遂行型）って何？

課題選定
(テーマ選び)



調査・データ収集



レポート提出・発表

大学生に求められる基礎的能力の
レベルアップ！

この入試では、国際学部でリーダーとして活躍してくれる人、
社会に出て活躍してくれる人を求めています！

今日のコンテンツ

- ▶ レポートを書く準備について
- ▶ レポートの書式・体裁について
- ▶ レポートの書き方について

1. レポートを書く準備について



① 自分の考え方が述べられているか？

- 「調べたこと」を書くだけではダメです。「調べたこと」に基づいて、「自分は何を考えたのか」を書きましょう。

② 自分の考え方の根拠となる「資料」や「データ」が示されているか？

- 「資料」や「データ」を用意することで、自分の考え方を明確に相手に示すことができます。資料やデータを集めて提示しましょう。現地調査など、自分で集めたデータを示すことも大変効果的です。

③ 問題に対する「答え」になっているか？

- 出題が「質問していること」にキチンと答えているかを確認しましょう。

序論

(10%)

- テーマの内容
- そのテーマを選んだ理由
- これから何を明らかにしていくのか

本論

(70~80%)

- 自分の考えや主張
- 根拠となる資料やデータの提示（重要！）

結論

(10~20%)

- 全体の要約と結論
- 残された課題 等

序論、本論、結論の中でそれぞれ書きたい内容を箇条書きにする。

レポートの全体の流れを意識することを忘れずに。

アウトライン（レポートの設計図）の完成

箇条書きにした項目ごとに文章を作成する。

2. レポートの書式・体裁について



- A4用紙に横書きが基本です。ワード等のワープロソフトを使って書いてください。
- 文字数や行数、字の大きさ等は特に指定しません。読みやすさを念頭に各自で調整してください。
- 枚数の上限もありません。
- 文字数は1800字～2200字（2000字の±10%）の範囲を目安としてください。
（参考文献は、文字数に入りません。）
- 1枚目は表紙として、タイトル、高校名、氏名等を書いてください。

- 文章の書き方は「です・ます」調よりも、「である」調の方が望ましいです。
- 話の内容が変わるときは文章を改行し（段落をつける）、次の段落の始まりは必ず一文字下げましょう。
- 一つの文章にあまり多くの内容を詰め込まず、適度な長さで文章を切るようにしましょう。文と文をつなぐ接続詞の使い方が重要です。
- 参考文献やサイトから引用する場合は、必ず出典元を明らかにしましょう。コピー厳禁！

2015年にわが国を訪れた外国人は1973.7万（年度ベースでは2135.9万人）に達し、3年連続で過去最高を更新した。2016年も前年を上回るペースで訪日外国人の増加が続いている。政府の当初目標は「2020年までに訪日外国人旅行者数2000万人」ということであったが、この目標は早々に達成され、現在、政府は「2020年までに4000万人、2040年までに6000万人」というさらに高い目標を掲げている。一方、日本人の海外旅行者数はここ数年、微減傾向が続いている。今後の人口減少や少子高齢化の進展、若者の海外旅行離れなどの要因を考えると、日本人の海外旅行者数大幅な増加に転じることは想定しにくく、今後とも緩やかに減少していくことになるだろう。2015年は大阪万博があった1970年以来、実に45年ぶりに訪日外国人旅行者数が日本人海外旅行者数を上回ったが、今後もこの傾向が続いていくものと予想される。観光白書によれば、日本人一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数は、長期的に微減ないし横ばい傾向にある。また、国内宿泊旅行と日帰り旅行の延べ人数もここ数年ほぼ横ばい傾向にあり、訪日外国人の活況とは対照的な動きを示している。

文章のポイントや構成がわかりにくい

2015年にわが国を訪れた外国人は**1973.7万**（年度ベースでは**2135.9万人**）に達し、**3年連続**で過去最高を更新した。**2016年**も前年を上回るペースで訪日外国人の増加が続いている。政府の当初目標は「**2020年**までに訪日外国人旅行者数**2000万人**」ということであったが、この目標は早々に達成され、現在、政府は「**2020年**までに**4000万人**、**2040年**までに**6000万人**」というさらに高い目標を掲げている。

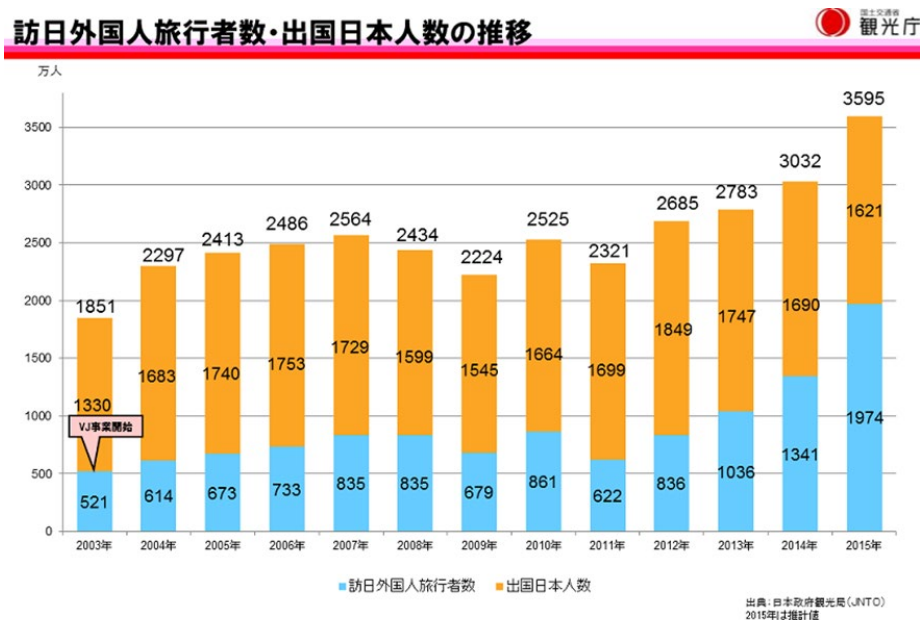
一方、日本人の海外旅行者数はここ数年、微減傾向が続いている。今後の人口減少や少子高齢化の進展、若者の海外旅行離れなどの要因を考えると、日本人の海外旅行者数大幅な増加に転じることは想定しにくく、今後とも緩やかに減少していくことになるだろう。

2015年は大阪万博があった**1970年**以来、実に**45年**ぶりに訪日外国人旅行者数が日本人海外旅行者数を上回ったが、今後もこの傾向が続いていくものと予想される。観光白書によれば、日本人一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数は、長期的に微減ないし横ばい傾向にある。また、国内宿泊旅行と日帰り旅行の延べ人数もここ数年ほぼ横ばい傾向にあり、訪日外国人の活況とは対照的な動きを示している。

文章のポイントや構成がわかりやすい

• 図表の場合

図表1 訪日外国人と出国日本人数の推移



出典：観光庁ホームページ

- 文章を引用する場合

- 引用する部分を「 」でくくる。

- (例) 小島 (2016) では、「・・・・・・・・」と指摘されている。

- 引用は必要最小限にとどめることが望ましい。

- 文章を参考にする場合

- (例) 観光白書によれば、・・・・・・・・ということである。

コピーは厳禁！必ず出典元を示しましょう。

- 引用した文献、参考にした文献やサイトは、レポートの最後にまとめて記載してください。
- 記載順は五十音順、引用順のどちらでも構いません。

(記載例)

参考文献

観光庁『観光白書 平成27年版』

観光庁ホームページ <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

小島克巳 (2016) 『観光交通ビジネス論』 成山堂書店

戸崎肇 (2010) 『図解 これからの航空ビジネス早わかり』 中経出版

3. レポートの書き方について



課題文

グローバル化の道を行ってきた日本の観光を今後も発展させていくための方法と課題について、根拠となる資料を用いて具体的に提案してください。提案にあたっては各自でテーマを設定し、その概要を説明し、**【課題作成のポイント】**を参考に論じてください。



- ✓ その方法を提案する理由が明確に述べられているか
- ✓ その方法が有効だと思う根拠についてデータが示されているか

考えるポイント③マッピング

訪日外国人観光客を増やすことが観光の発展につながる



まずは、各国の訪日観光客数を調べてみよう



アジア（中国、韓国、ベトナム？）、ヨーロッパ（フランス、ベルギー、オランダ？）、アメリカ（アメリカ、カナダ、ブラジル？） etc.



調査・資料収集してみよう！

Q. 各エリアからの訪日観光客はどのくらいいるんだろう？

- ・アジア
- ・ヨーロッパ

(出典：日本政府観光局

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf)

課題：国際観光学科

Q. 各エリアからの訪日観光客はどのくらいいるんだろう？

* 2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響により訪日観光客数が激減するため、2019年のデータを使用

・ アジア（出典：日本政府観光局https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf）

2019年 訪日外客数（総数）

出典：日本政府観光局（JNTO）

* 本表で、通年の月別・市場別の推移が確認できます。伸率は前年同月比を表しています。

単位：人数(人)、伸率(%)

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率
総数	2,689,339	7.5	2,604,322	3.8	2,760,136	5.8	2,926,685	0.9	2,773,091	3.7	2,880,041	6.5	2,991,189	5.6	2,520,134	-2.2	2,272,883	5.2	2,496,568	-5.5	2,441,274	-0.4	2,526,387	-4.0	21,889,040	2.2
アジア計	2,366,944	7.2	2,323,258	3.4	2,287,450	5.3	2,369,734	-2.5	2,344,872	2.7	2,483,217	6.1	2,563,058	5.4	2,156,004	-4.4	1,827,278	0.6	1,959,436	-10.6	2,016,676	-3.7	2,121,351	-7.2	26,819,278	0.2
中国	779,383	-3.0	715,804	1.1	585,586	-5.4	566,624	-11.3	603,394	-5.8	611,867	0.9	561,675	-7.6	308,730	-48.0	201,252	-58.0	197,281	-65.5	205,042	-65.1	247,959	-63.6	3,600,000	-25.9
中国	754,421	19.3	723,617	1.0	691,279	16.2	726,132	6.3	756,365	13.1	880,651	15.7	1,050,420	19.5	1,000,639	16.3	819,054	25.5	730,631	2.1	750,951	21.7	710,234	18.6	9,594,394	14.5
台湾	387,498	10.5	399,829	-0.3	402,433	3.9	403,467	-14.2	426,537	-3.1	461,085	0.9	459,216	-0.3	420,279	6.5	376,186	14.3	413,701	9.0	392,102	11.4	348,269	3.7	4,890,602	2.8
香港	154,292	-3.9	179,324	0.5	171,430	-12.4	194,806	8.3	189,007	-0.8	209,030	1.7	216,810	-4.4	190,260	-4.0	155,927	23.6	180,562	6.5	199,702	19.5	249,642	19.2	2,290,792	3.8
タイ	92,649	12.2	107,845	31.5	147,443	26.9	164,817	10.9	107,857	4.2	62,984	-14.5	73,202	-1.6	49,589	4.4	62,057	14.0	145,333	23.2	140,265	36.3	164,936	28.6	1,318,977	16.5
シンガポール	22,676	7.1	26,102	11.1	43,687	14.7	36,704	-2.4	37,650	-4.4	47,264	18.2	21,716	1.6	19,698	20.6	29,147	24.7	41,937	19.4	65,295	20.3	100,376	15.3	492,252	12.6
マレーシア	31,399	0.9	36,660	3.8	50,615	6.2	46,092	-6.3	42,629	17.0	30,534	-16.3	22,957	-0.6	19,827	-1.6	28,778	7.9	48,864	24.8	64,987	17.1	78,250	15.7	501,592	7.1
インドネシア	32,477	8.7	24,622	16.7	39,609	22.1	39,768	-7.7	30,107	-4.3	49,290	-12.2	25,215	-4.8	16,160	-7.5	25,021	2.4	34,094	20.7	37,213	15.9	59,203	9.7	412,779	4.0
フィリピン	35,987	13.5	35,170	27.9	48,277	-13.9	69,266	8.4	59,578	1.0	46,842	25.4	37,771	30.4	31,470	27.3	37,758	52.4	64,690	36.7	64,763	37.9	81,542	46.5	613,114	21.7
ベトナム	35,375	27.7	39,377	68.5	47,881	35.9	55,295	9.9	39,900	41.6	35,419	20.2	40,762	21.7	43,709	27.7	38,325	30.9	46,510	18.0	41,892	23.3	30,606	25.7	495,051	27.3
インド	12,468	10.0	9,071	15.3	17,752	28.3	18,376	3.7	19,914	15.3	15,359	23.0	13,222	6.4	13,308	26.6	15,895	19.4	13,929	1.4	14,863	12.0	11,739	14.3	175,896	14.2
マカオ	6,608	7.2	7,933	-3.2	8,045	8.5	6,873	-7.8	8,538	5.6	9,962	20.0	16,358	11.7	17,232	8.8	8,076	54.1	7,538	-2.5	9,309	27.7	14,725	19.5	121,197	11.5
イスラエル	1,107	17.5	1,524	51.9	6,032	0.3	7,453	9.2	3,164	14.8	1,644	6.9	2,221	1.8	2,130	-7.8	5,402	-23.8	7,956	104.5	3,728	8.2	1,853	54.9	44,214	12.8
モンゴル	2,893	20.1	2,108	21.6	2,989	28.7	2,650	12.1	2,166	3.6	2,570	28.9	2,203	-3.2	3,275	41.0	3,102	15.1	2,637	12.0	2,473	-5.8	2,447	-0.5	31,513	14.0
トルコ	1,153	4.7	1,105	11.8	2,181	2.5	2,483	-7.7	1,906	15.8	2,736	74.7	2,025	11.9	1,924	-4.3	1,752	29.2	1,855	-0.9	2,176	47.0	1,428	28.0	22,724	15.0
その他アジア	16,558	17.3	13,167	23.8	22,211	20.4	28,928	-1.4	16,160	11.7	15,980	27.6	17,285	12.9	17,774	18.4	19,546	17.7	21,918	17.3	21,915	33.8	18,142	17.8	229,584	16.6

→2019年、アジアからの訪日観光客数は26,819,278人

課題：国際観光学科

・ ヨーロッパ (出典：日本政府観光局https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf)

ヨーロッパ計	92,337	4.7	99,499	4.3	186,225	8.5	240,955	20.1	164,278	6.5	134,028	11.6	178,049	8.3	165,158	9.3	188,424	35.4	248,153	28.5	165,715	19.6	123,708	19.1	1,986,529	15.5
フランス	15,320	4.9	17,397	7.0	29,408	16.1	46,005	4.4	30,863	4.3	21,317	10.0	34,634	4.1	30,851	9.4	26,530	31.7	39,457	15.0	24,290	10.1	20,261	14.3	336,333	10.3
ドイツ	11,358	2.6	13,384	1.4	28,659	15.0	27,829	25.9	21,552	5.8	15,697	8.8	18,593	8.4	17,264	6.5	22,768	13.8	26,276	5.7	19,525	5.3	13,639	9.4	236,544	9.8
イタリア	6,033	-5.6	5,897	-0.8	14,956	12.9	24,062	35.5	12,463	2.3	11,357	2.8	13,566	0.2	22,804	3.4	13,354	8.8	14,731	-2.2	12,350	6.3	11,196	25.2	162,769	8.5
ロシア	6,316	11.0	5,601	13.4	11,701	31.2	13,787	11.4	9,691	30.1	8,844	25.5	9,005	15.9	8,321	23.7	10,454	38.4	14,348	33.1	13,142	41.7	8,833	40.4	120,043	26.6
スペイン	4,382	5.2	4,533	8.6	8,916	-22.6	13,858	50.5	9,971	7.2	9,762	17.8	15,771	16.9	20,009	3.9	11,472	8.6	13,739	-2.5	10,535	19.1	7,295	21.8	130,243	9.5
スウェーデン	3,509	1.7	3,228	-6.9	5,461	-13.2	6,702	8.9	4,171	-1.8	5,321	-1.0	4,364	-0.3	2,669	1.4	3,664	-1.4	5,909	-2.2	4,843	10.8	3,995	8.0	53,836	0.0
オランダ	3,321	-2.5	4,139	14.2	7,071	26.0	9,476	7.8	7,502	8.2	4,930	10.0	10,459	14.6	6,059	10.7	6,862	6.7	9,113	11.2	6,080	4.7	4,467	6.7	79,479	10.3
スイス	2,399	8.7	2,568	-1.8	5,066	-10.0	7,983	23.7	4,608	-3.1	3,145	2.7	6,489	-3.0	3,529	5.5	4,778	10.3	6,514	-1.2	3,756	5.7	3,073	7.2	53,908	3.5
ベルギー	1,572	4.9	1,849	8.8	3,547	12.3	5,258	24.9	3,351	12.6	2,553	20.3	5,166	6.9	2,850	13.9	3,488	17.0	4,424	10.5	3,138	15.0	2,049	22.3	39,245	14.1
フィンランド	1,875	0.6	2,213	24.1	2,729	2.5	2,604	-9.2	3,102	21.5	3,054	14.0	2,108	2.4	1,580	13.0	1,931	-2.3	3,309	3.1	2,336	11.7	2,596	31.6	29,437	8.6
ポーランド	1,517	-16.2	1,591	-2.1	4,188	26.1	5,972	8.6	3,442	-7.6	2,721	9.4	3,217	17.5	2,945	14.5	3,538	16.5	4,017	11.7	3,729	26.3	1,657	24.1	38,534	11.0
デンマーク	1,544	-8.6	1,843	16.6	3,132	-17.9	4,215	51.3	2,404	20.0	1,980	5.0	4,972	15.5	1,645	6.1	2,298	3.6	3,917	4.3	3,080	45.2	1,863	28.0	32,893	12.8
ノルウェー	1,537	17.1	1,640	1.9	2,335	-34.1	3,756	104.8	1,537	4.2	2,453	9.7	3,320	11.8	1,156	11.4	1,828	9.9	1,959	-4.3	1,898	22.2	1,419	10.5	24,838	10.1
オーストリア	1,382	11.4	1,479	9.2	2,498	7.4	3,451	50.4	2,179	-6.8	1,732	8.1	3,005	18.4	2,453	21.3	2,640	16.4	2,827	-5.7	2,288	19.0	1,596	24.6	27,530	13.8
ポルトガル	1,587	17.9	1,571	2.8	2,538	3.5	3,527	43.1	2,728	28.8	2,577	42.6	2,828	15.5	3,312	27.9	2,712	30.1	3,389	22.9	2,693	8.7	2,887	18.7	32,349	22.0
アイルランド	1,316	4.6	1,333	3.0	1,970	-9.6	2,481	31.3	1,949	0.6	1,887	9.4	1,889	6.1	1,696	19.1	9,151	415.5	12,024	471.2	2,039	23.0	1,652	27.6	39,387	93.8
その他ヨーロッパ	5,815	10.4	5,679	16.8	13,440	30.5	15,452	12.3	11,123	10.9	8,897	13.4	9,735	9.8	9,802	23.4	11,376	23.5	13,799	17.2	12,284	27.8	7,480	31.7	124,882	18.8

→2019年、ヨーロッパからの訪日観光客数は1,986,529人

- データからわかること



- ヨーロッパからの観光客数がアジアに比べて少ないことが課題である
- ヨーロッパからの観光客を増やせれば、訪日の観光客を増やせるのではないか

→ヨーロッパからの観光客を増やすことが、日本の観光の発展に繋がるのでは？

- ・では、なぜヨーロッパの観光客が少ないのだろうか？



- ・考えられる要因

- ①距離：アジアから訪日するより飛行時間・滞在日数・費用がかかる
- ②言語：主に日本語
- ③食：主食が白米、独特の食文化
- ④文化の違い：歴史・宗教・建築などヨーロッパとは大きく異なる

→この中のいくつかを解決できれば、ヨーロッパからの観光客を増やせるのでは？

課題：国際観光学科

・ヨーロッパ全体の観光客を増やすことも大切だが、具体的な解決案を提示しにくいので、もう少し国をしぼる必要がある

→ ヨーロッパの中で伸び率が期待できる国はどこか？

(出典：日本政府観光局

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf)

⇒ベルギーはヨーロッパ内での前年からの訪日観光客数の伸び率が14.1ポイントと増加傾向にあるが、ヨーロッパ内で見たとときに伸び率は5番目なので、伸びしろがあると考えられる

⇒今後の訪日観光客数の伸び率に期待できる

⇒「訪日ベルギー人観光客を増やすことが観光の発展につながる」と言えそう！

- ・調査・資料収集しながら考えた仮説と解決案を文章化していく

①序論

・今回設定した課題「訪日ベルギー人観光客を増やすために、ベルギー人は日本の観光旅行に何を求めているのかを明らかにし、解決案を提案する」を設定した理由・背景

- ・調査・資料収集した上での仮説の提示

仮説①「伝統文化・歴史に触れること」

仮説②「日本食・スイーツを食べること」

②本論

- ・「ベルギー人は日本の観光旅行に何を求めているのか」の具体的検討
- ・仮説①「伝統文化・歴史に触れること」の検討
- ・引用：ベルギー人は「古くからの伝統や慣習を非常に大切にする国民性」
ベルギー王国大使館一等書記官・経済部長ブレント・ヴァン・タッセルさん、
<https://www.alic.go.jp/content/001154790.pdf>
→仮説の裏付けとなる
⇒ベルギー人が日本の観光旅行に求めているもののひとつに、伝統文化・歴史に触れることがあると考えられる

②本論（つづき）

- ・ 仮説②「日本食・スイーツを食べること」の検討
- ・ データ：ベルギーと食文化に近いフランス人訪日観光客は、他国の観光客と比較して、日本滞在中の飲食費にかける割合・金額が多い
(<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--inbound--consumption--by--item>)
→少し根拠が弱いため、別のデータを探す

②本論（つづき）

- ・引用：「美食の国ベルギーにあって、「いかに質の高い食事を取るか」ということが重要視されている」（ベルギー王国大使館一等書記官・経済部長 ブレント・ヴァン・タッセルさん、<https://www.alic.go.jp/content/001154790.pdf>)
- ・ベルナルド・カトリッセ「美食の国・ベルギー」『魅惑のベルギー美術』

pp.130-131.

- ：ベルギーでは「地域、旬の食材、伝統製法を活かした料理が数多くある」、多くのチョコレート、地ビールの存在
- 仮説の裏付けとなる
- ⇒ベルギー人が日本の観光旅行に求めているもののひとつに、日本食・スイーツを食べることがあると考えられる

③結論

・今回設定した課題「訪日ベルギー人観光客を増やすために、ベルギー人は日本の観光旅行に何を求めているのかを明らかにし、解決案を提案する」に対し、本論での検討から、以下二点の解決案を提案する。

①ベルギー人に向けた観光先として、京都・奈良などの伝統的な歴史文化地区を提案する

②ベルギー人に向けた訪日動機として、日本食・スイーツを提案する

・この二点を実行することにより、訪日ベルギー人観光客の誘客が見込め、日本の観光の発展に寄与することができる、といえる。

課題遂行型の評価のポイント



➤ 自分の考え方が述べられているか？

「調べたこと」を書くだけではダメです。「調べたこと」に基づいて、「自分は何を考えたのか」「自分の主張」を書きましょう。

➤ 自分の考え方の根拠となる「資料」や「データ」が示されているか？

「資料」や「データ」を用意することで、自分の考え方を明確に相手に示すことができます。資料やデータを集めて提示しましょう。現地調査など、自分で集めたデータを示すことも大変効果的です！

➤ 問題・課題に対する「答え」になっているか？

問題・課題にきちんと答えているか、主張に筋が通っているのか、を確認しましょう。

➤ プレゼンテーションで自分の考えをきちんと伝えることができているか？

人前できちんと相手に対して説明ができること、人の意見（質問）をしっかりと聞いて、自分の意見を言えるかどうか、を総合的に判断します。



課題遂行型の入試課題に正解はありません。皆さんの主張に筋が通っているか、が重要です。

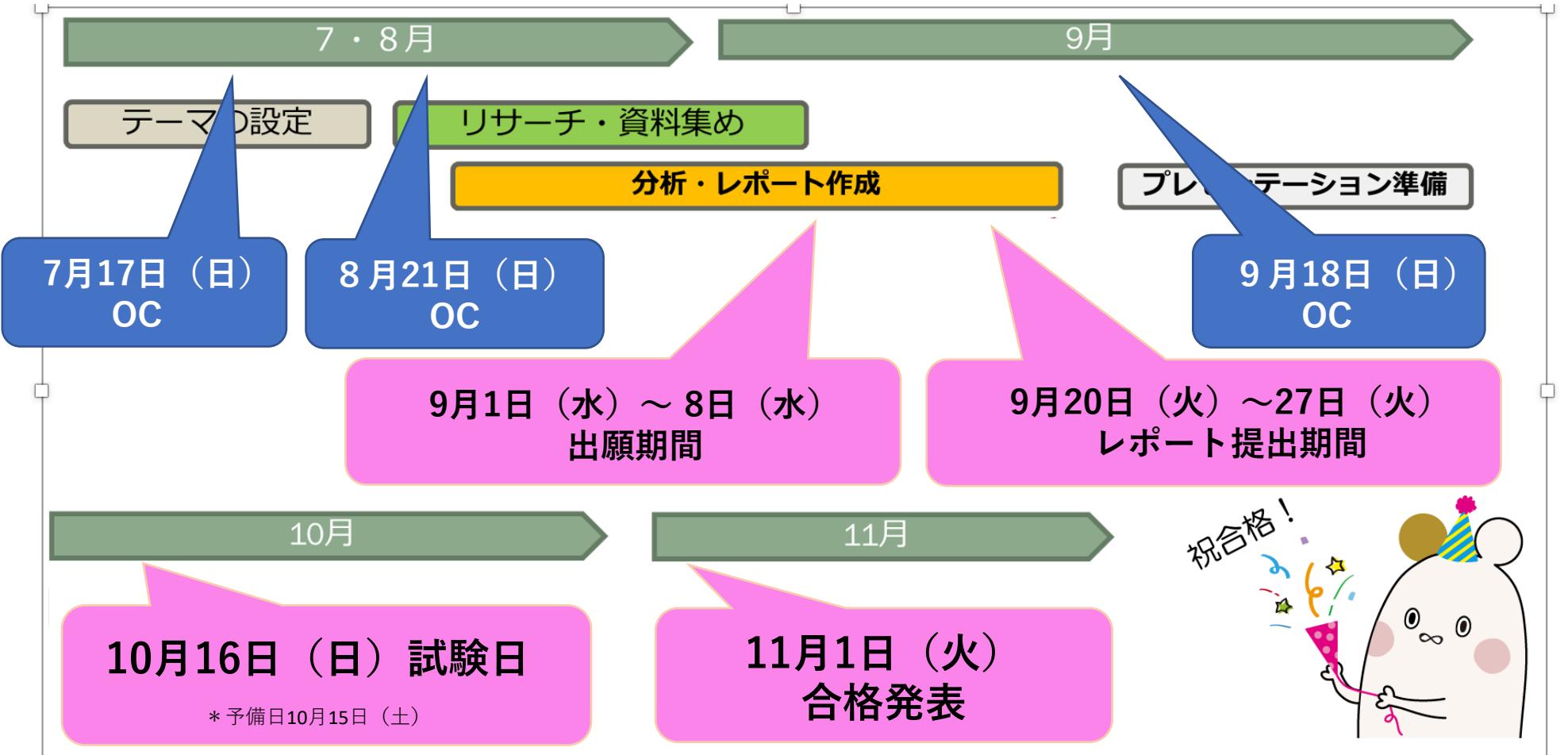
※本対策講座で取り上げた「訪日ベルギー人観光客を増やすことが、どのように観光の発展につながるか」の問題は、実際には、ご自身の総合型入試の課題として取り扱わないようにしてください。取り扱った場合は評価が低くなります。



合格までの スケジュールと準備



合格までのスケジュールと準備



次回の入試（課題遂行型）

対策講座の予告



9月18日（日）の講座では

試験当日対策をお話しします。

▶次回までに、プレゼンテーションのアイデア出しを始めておくと良いと思います。




今後のOCでの入試対策講座

◆6月26日（日）：テーマの選び方、取り組み方

◆7月17日（日）：調査・分析の進め方

◆8月21日（日）：レポートの書き方、まとめ方

◆9月18日（日）：試験当日対策 ← 次回



国際学部の入試に
関するご質問

ぜひ、kokusai-sogo@bunkyo.ac.jpに
ご相談ください。

次のオープンキャンパスで
お会いしましょう。

* お問い合わせの際には、「志望学科」「氏名」「高校名」を明記してください。

* 回答はメールを送信していただいたアドレスに返信しますので、
受信制限などを解除して、文教大学からのメールを
受信できるようにしておいてください。

国際学部
オリジナルHP

